

平成 28 年度第 4 回鹿児島空港周辺地域環境整備委員会 会議要旨

開催日時	平成 29 年 3 月 1 日（水） 10：00～11：00		
開催場所	溝辺公民館（みそめ館） 第 3 研修室		
出席委員	塩川委員長、今島光副委員長、今吉委員、今島六男委員、大山委員（代理）、米丸純一委員、山下委員、重森芳夫委員（代理）、徳永委員、東郷委員、重森順一委員、徳丸委員、濱田委員、濱川委員、米丸万里子委員、岩元委員、末永委員		
事務局	堀切企画政策課長、藤崎課長補佐、堀ノ内企画政策グループ主査、川崎溝辺総合支所地域振興課長、有村地域振興グループ主査、		
関係者	仲澤県交通政策課長、木下航空対策係長、田中航空対策係主査		
公開・一部非公開又は非公開の別	公開	傍聴人数	3 人
議事 1. 開会 2. 委員長あいさつ 3. 委員会の運営について 4. 報告事項 1) 空港周辺地域環境整備事業予算関連について 2) 平成 29 年 3 月 26 日のダイヤ改正について 5. 情報共有 住民周知以降の状況について 6. 閉会			
審議結果等の概要 長 ：委員長 委 ：委員 事 ：事務局 県 ：交通政策課 1. 開会 事 （省略） 2. 委員長あいさつ 長 （省略） 3. 委員会の運営について 長 本日の委員会及び会議結果の公開について諮る。 事 霧島市附属機関等の会議の公開に関する指針によると、会議は原則公開とし、会議結果についてはホームページ等に公開することになっている。本委員会についてはホームページに掲載情報を掲載した際に、傍聴の可否は委員会に諮って決			

定ずるとしている。本日の委員会は報告事項と情報共有となっていることから、公開と考えている。

長 事務局は公開と考えているとのことであるが、いかがか。

委 異議なし。

長 それでは、本日の委員会は霧島市附属機関等の会議の公開に関する指針に基づき公開とし、併せて会議結果については後日ホームページで公開することに決定する。

4. 報告事項

1) 空港周辺地域環境整備事業予算関連について

2) 平成 29 年 3 月 26 日のダイヤ改正について

県 資料「鹿児島空港周辺環境整備事業（平成 29 年度当初予算案）」に基づき説明。要点は次のとおり。

- ・地域活性化に資する事業等を地区自治公民館単位で実施するものとして 1 億 8,700 万円を県議会に提案している。
- ・事業内容の詳細は今後、市と協議して決定する。

事 資料「平成 29 年度 霧島市一般会計当初予算（案） 【空港周辺環境対策予算関連概要】」に基づき説明。要点は次のとおり。

- ・積立金 1 億 8,700 万円は、県からの交付を受けて空港周辺地域環境整備基金に積み立てるもの。
- ・報償費は本委員会 2 回分の開催に掛かるもの。
- ・通信運搬費は補助制度対象者への通知に掛かるもの。
- ・継続事業は、現在の基金事業としてテレビ受信料補助と空調機の更新補助を実施するもの。
- ・新規事業は住民説明会や本委員会の要望を受けて、今回の運用時間 1 時間延長に関する新たな支援策を実施するもの。

事 資料「鹿児島空港周辺地域環境整備基金事業実績」に基づき説明。要点は次のとおり。

- ・平成 4 年の運用時間延長時に旧溝辺町と旧隼人町に設置された基金で、平成 27 年度末残高は 3 億 2,178 万円あまり。
- ・現在も実施されているのは番号 1 と 2 で、番号 3 から 5 は事業完了している。

県 資料「鹿児島空港の運用時間 1 時間延長について」に基づき説明。要点は次のとおり。

- ・運用時間は前後 30 分間延長されて午前 7 時から午後 10 時になる。
- ・運用時間 1 時間延長に伴うダイヤ改正は 4 便が予定されている。

長 今回の説明に対して委員から意見はないか。

委 周知用チラシ配付後に、地区住民からは意見や要望は寄せられていない。地区の総会に向けては環境整備事業に対して交付される交付金の使い方、使い道を明確にし、住民に良く理解してもらう必要があると考えている。

事 特別会計の設置や書類関係の様式の統一化等について調整中であり、調整が済み次第、交付金に関する説明会を開催する。

5. 情報共有 住民周知以降の状況について

長 本委員会を活用して地域と県、市との情報共有に努めることにしている。周知用チラシ配付後に、地域住民からの意見や要望があれば報告をお願いする。

委 周知用チラシ回覧後に、交付金に関する問い合わせがある。3月中旬に開催する総会で、交付金の金額とこれまでの経緯について説明する予定である。運用時間の延長については、大きな反対の声は聞いていない。以前実施したアンケートでは運用時間の延長に対して3割近い反対があったが、現在は理解が得られているように感じている。地区全体で恩恵が受けられるような交付金の活用を検討している。

委 自治会長会では、運用時間の延長に関する異論は出ていない。環境整備事業の内容に関しての要望がある。

委 運用時間の延長に関する反対はない。自治会長も、交付金で色々な事業が実施できると知って賛成している。

委 役員会では、ある程度は納得していると感じている。一番初めに、溝辺地区自治公民館連絡協議会で話があったため、その場で運用時間延長を決めたのではないかと誤解している住民がいる。

地区の住民説明会の参加者は約20名であり、割合としては10人に1人程度であった。不参加者が多いことから絶対反対ではないと認識している。

委 周知用チラシ配付後は、特に意見等は寄せられていない。役員会では、騒音対策にしっかりと取組んで欲しいとの意見がある。

交付金に関しては一括交付、公民館の裁量が大きな制度、手続きが煩雑でない制度等の要望が役員会で出ている。

委 交付金を共同墓地の整備に使いたいとの意見があった。検討をお願いする。

事 公民館によって色々と事情が違ふ。各公民館がどのような事業を実施したいのか情報を出してもらって、県と調整する。

委 当地区は地域外の出身者が多いためか、聞いていない、分からないとの意見が多い。

委 公民館単位で今後、説明会を開催する考えはないのか。住民説明会の議事録を

県と公民館双方で確認したいと要望していたが、その後何も話がない。

事 県主催の住民説明会で、運用時間 1 時間延長に関して本委員会で協議していくことを理解いただいたと認識している。今の要望については県と市で協議する。

委 交付金は一括交付されるのか。

事 一括交付については協議中であるので、交付金の手続等に関する説明会の場で示したい。

委 前回の説明会では一括交付、分割交付どちらでもいいという説明だった。方針が変わったのか。

県 まだ結論が出ていない。

委 一括交付を要望する。

長 一括交付の要望があるので、県と市に一括交付の検討をお願いする。

委 このような場がこれまではなかった。今後は、関係する公民館長等の様々な意見を十分に聴きながら検討を重ねることを要望する。また、委員長や地区の館長も交代する可能性があるので、しっかりと次の世代に引き継いでいくことができる組織としての体制を整えることを要望する。

長 住民周知後にそれぞれの地域で交付金や騒音対策に関する意見、要望があるようだが、本委員会で議論するものと、そうではないものを論点整理した上で対応する。

また、騒音対策に関しては、国や航空事業者等の関係者と連携を図りながらしっかりと取組んでいく。

更に、本委員会は国や県、市と住民との協議の場と位置付けているので、引き続き進捗状況等に関して情報共有を図っていく。

それでは、騒音対策等に対する要望活動などについて事務局の説明を求める。

事 資料「【鹿児島空港環境整備等に係る要望活動等（霧島市）】」に基づき説明。要点は次のとおり。

- ・昨年 11 月 15 日に、市長が国土交通省及び大阪航空局に直接要望書を提出した。
- ・要望書の内容はヘリ・セスナの飛行、住宅地上空での飛行、エンジンテストに伴う騒音などの発生源対策の実施を強く要望するものとなっている。
- ・国の平成 30 年度予算編成に向けては、県と市で鹿児島空港事務所を通じて防音壁やブラストフェンスの整備を要望している。
- ・2 月 15 日には、航空事業者等の空港関係者で構成される鹿児島空港連絡会で、これまでの経緯を説明したほか、地域住民に十分に配慮した運航に努めるよう要請した。
- ・今後の予定としては、3 月中に市長が国土交通省と大阪航空局に直接出向いて、現状説明や空港の活性化対策とともに、地域の声十分に配慮した環境対策を

要望する方向で調整中である。

長 地域の声を受けて色々と要望しているとの説明である。この要望がどのように現実化していくのか、その担保して国や県等の関係者が出席できるように委員会の設置規則を改正した。今後は本委員会で進捗状況等をチェックできるようにしていく。

本日の意見や要望に対しては、委員会で協議すべきものか論点を整理したうえで今後対応していく。

6. 閉会

事 (省略)

会議資料

【配付資料】

- 会次第
- 出席者名簿
- 鹿児島空港周辺環境整備事業（平成 29 年度当初予算案）
- 平成 29 年度 霧島市一般会計当初予算（案） **【空港周辺環境対策予算関連概要】**
- 鹿児島空港周辺地域環境整備基金事業実績
- 鹿児島空港の運用時間 1 時間延長について
- **【鹿児島空港環境整備等に係る要望活動等（霧島市）】**